

内航海運業界の現状

第1回燃料油環境規制対応連絡調整会議資料

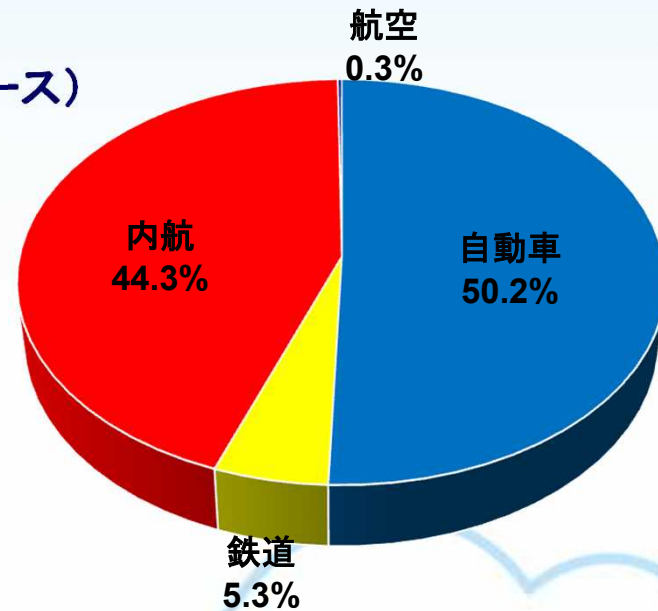
平成29年3月17日

日本内航海運組合総連合会

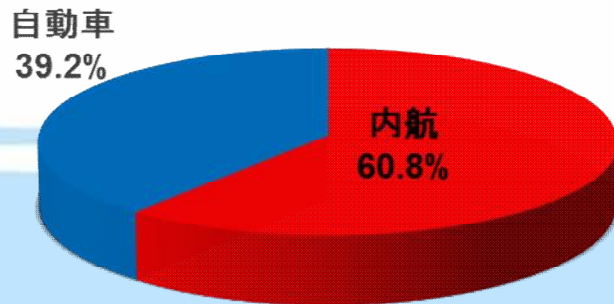
日本の産業の大動脈

内航海運は、国内物流全体の44%を担い、鉄鋼、石油、セメント等産業基礎物資の約8割の輸送を担う重要な物流産業です。

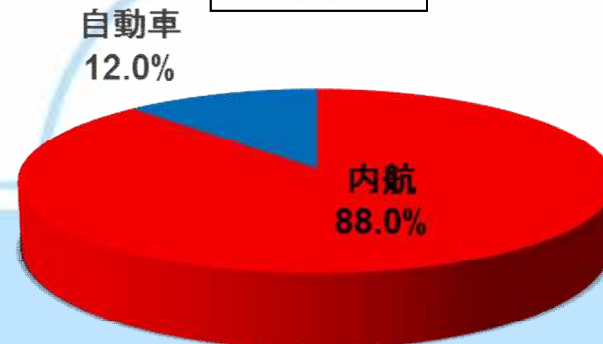
輸送機関別シェア(平成27年度:トンキロベース)



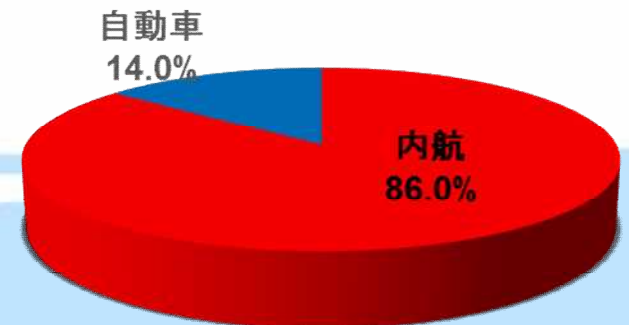
金属(鉄鋼等)



石油製品

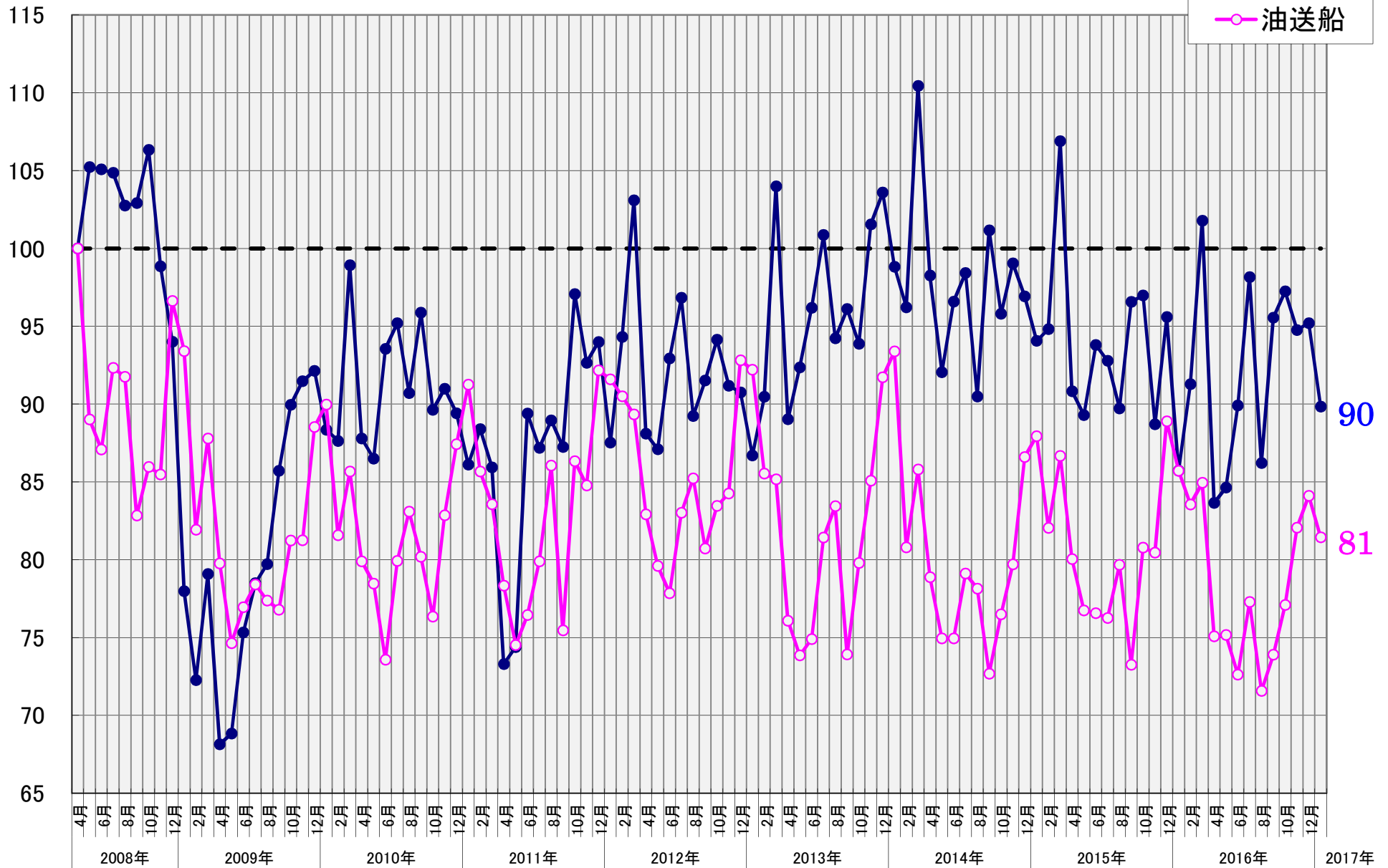


セメント



指数
2008年4月 = 100

輸送実績の推移<輸送量(トン)>(指数表示)



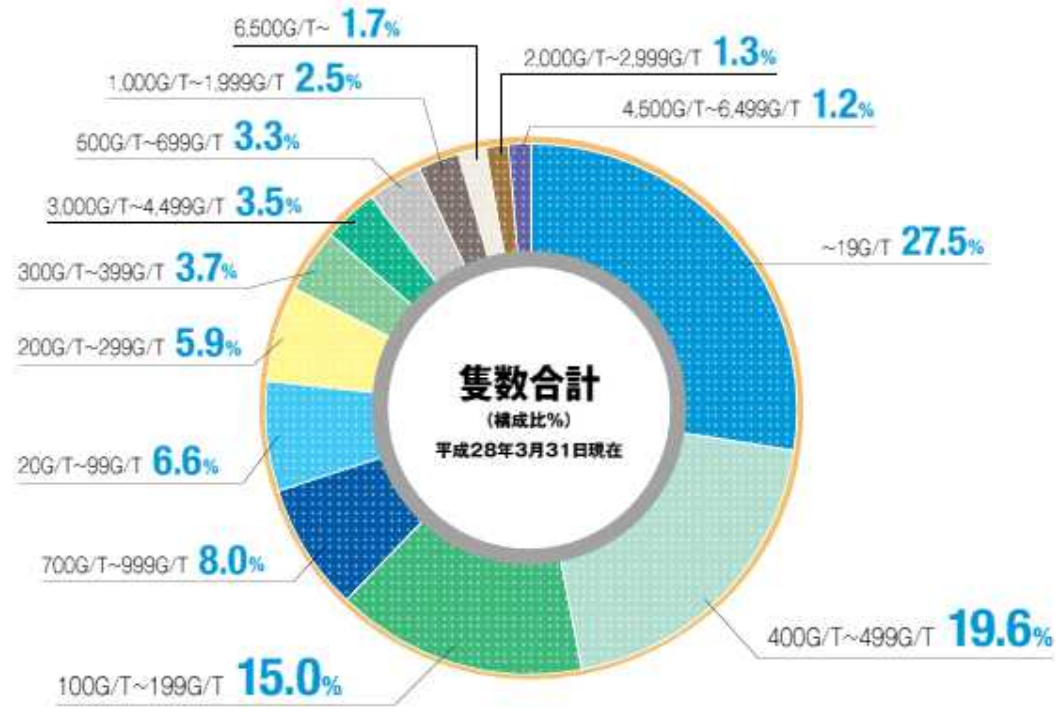
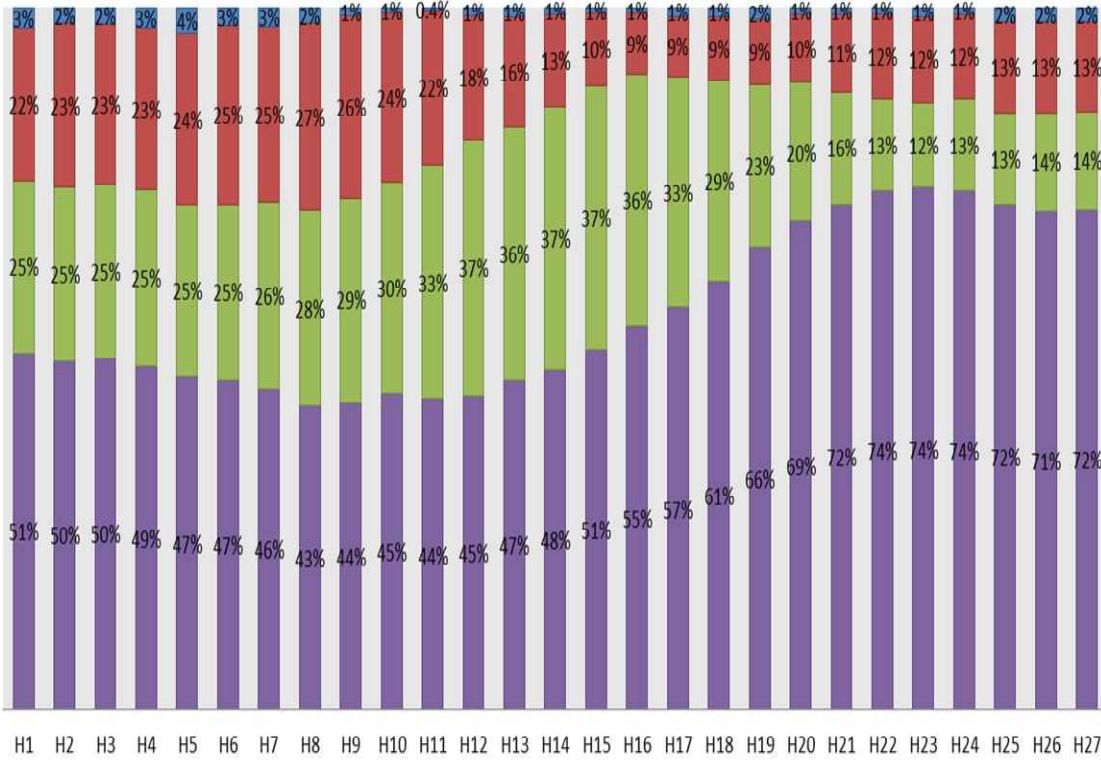
内航船の船齢別、船型別状況

船齢14年以上の法定耐用年数を超える
老朽船が全体の72%を占めている。

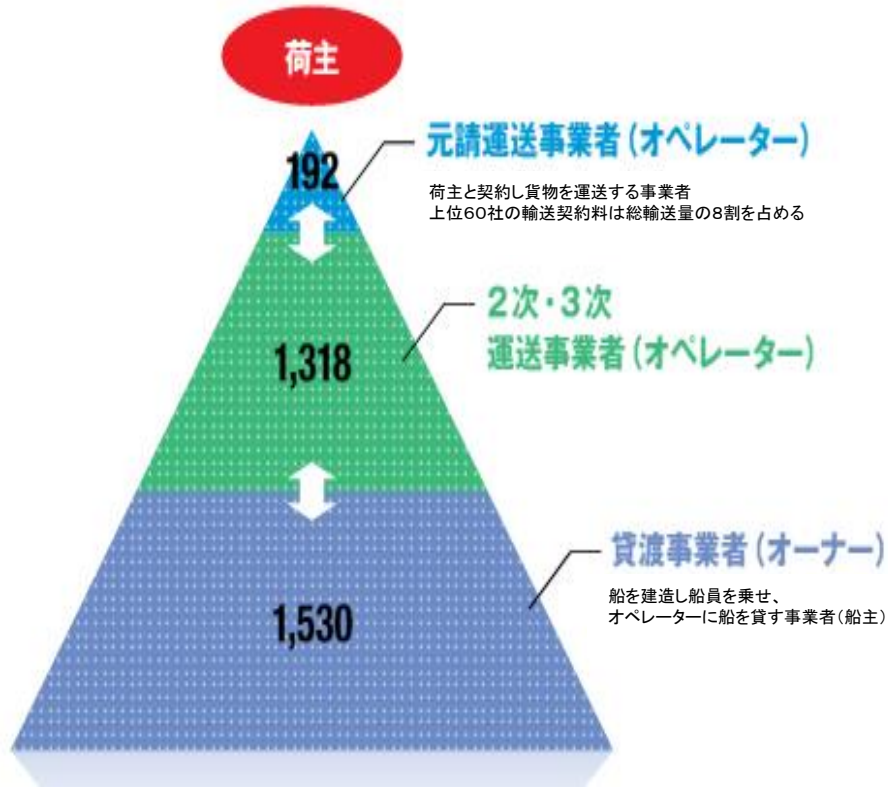
隻数比で499総トン以下が67%
を占めている。

内航船船齢構成の推移

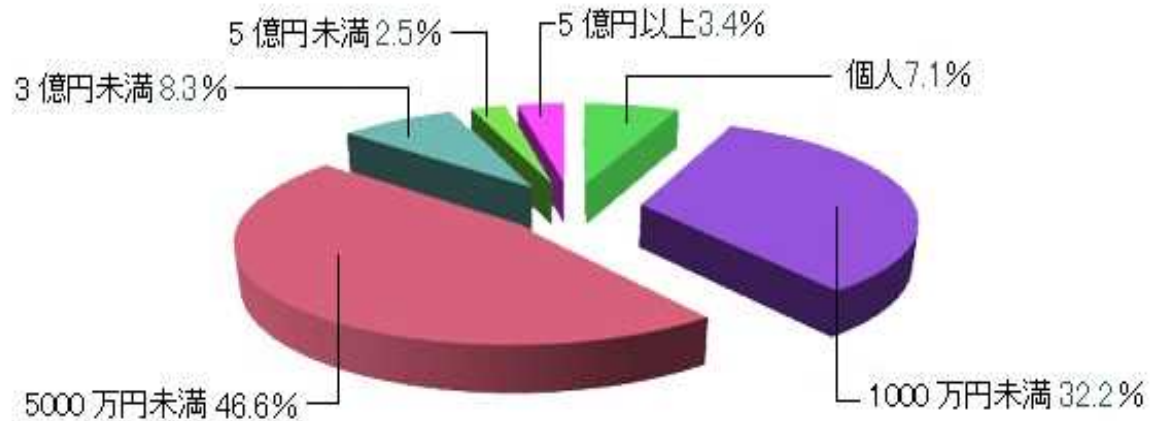
■14年以上 ■7年~14年未満 ■1年~7年未満 ■新造船



内航海運事業者



資本金別登録事業者数 (事業者数合計1,981構成比%)

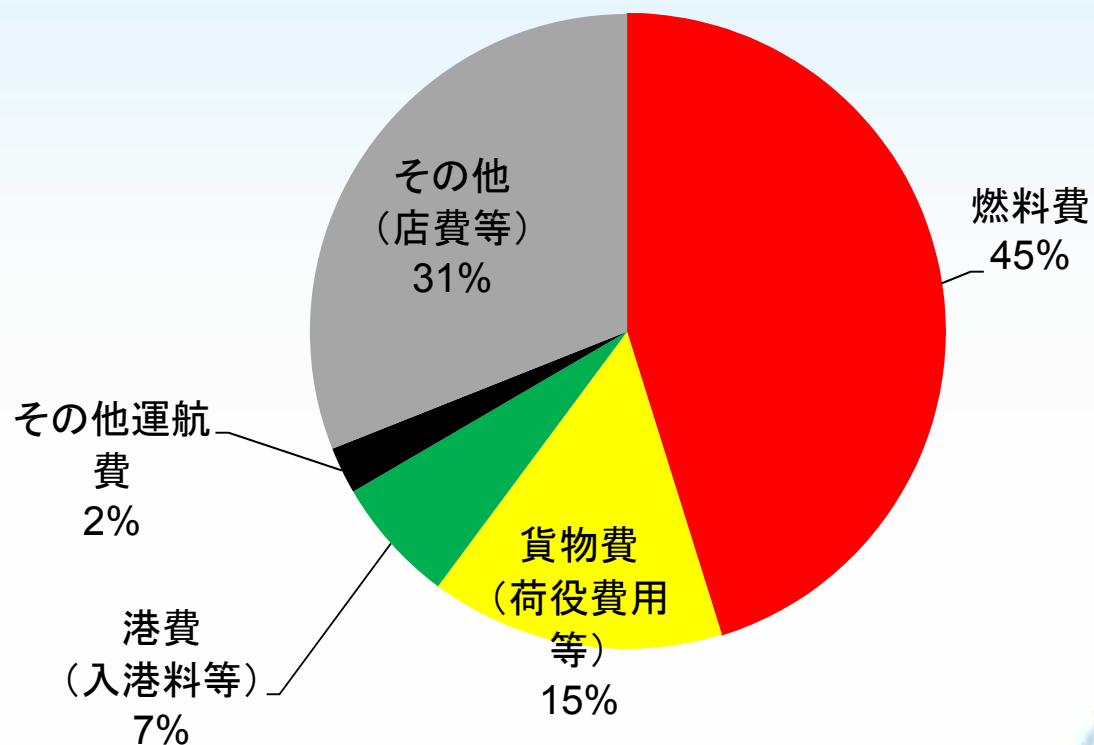


資本金別登録事業者数

区分	運送業		貸渡業		合計(実事業者数)	
	事業者数	構成比(%)	事業者数	構成比(%)	事業者数	構成比(%)
個人	21	3.3%	119	8.9%	140	7.1%
1000万円未満	109	17.1%	528	39.3%	637	32.2%
5000万円未満	325	51.0%	599	44.6%	924	46.6%
3億円未満	106	16.6%	58	4.3%	164	8.3%
5億円未満	27	4.2%	22	1.6%	49	2.5%
5億円以上	49	7.7%	18	1.3%	67	3.4%
合計	637	100.0%	1,344	100.0%	1,981	100.0%

平成28年3月31日現在

運航費に占める燃料費の割合



内航船燃料油消費実績

(単位：KL)

年度	A重油	B重油	C重油	合計	前年比%
2010	810,490	17,107	1,599,279	2,426,876	7.5
2011	774,454	15,499	1,573,753	2,363,706	▲ 2.6
2012	773,429	15,199	1,634,663	2,423,290	2.5
2013	785,317	13,954	1,621,478	2,420,749	▲ 0.1
2014	777,932	11,931	1,641,758	2,431,621	0.4
2015	796,297	8,836	1,557,756	2,362,889	▲ 2.8

内航総連第45号
平成29年1月20日

国土交通省海事局長
羽尾 一郎 殿

日本内航海運組合総連合会
会長 小比加 恒久

SO_x 規制強化に伴う諸問題への要望について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊会の運営にご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2020年より開始される SO_x 規制（燃料油中の硫黄分0.5%以下）の強化について、内航貨物船業界の抱える懸案事項及び要望事項を取り纏めましたので、ご配慮をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 懸案事項

1) 2020年より、規制適合油の安定供給の確保。

2) 規制適合油の価格。

3) 規制適合油使用時の諸問題。

- ・低硫黄、低粘度、低密度等に伴う潤滑性能低下による機関トラブルや出力低下による燃料消費の増大等。
- ・低粘度対策としての燃料冷却装置の搭載、粘度向上添加剤の使用等の必要性。
- ・大型機関における低硫黄A重油使用に伴う課題の有無。

4) 燃料タンク残油を規制適合油へ切り換えるタイミング及び方策。

2. 要望事項

- 1) どのような種類（低硫黄 A 重油、低硫黄 C 重油、ブレンド油等）の規制適合油が供給されるのか、ご教示をお願いいたします。
- 2) 規制適合油の安定供給の確保をお願いいたします。
- 3) 供給される規制適合油の品質（密度、動粘度、流動点、着火指数 等）の確保をお願いいたします。
- 4) 規制適合油の価格上昇への対応。
運航経費の約 4 割を占める燃料油費用の増加は、事業者（オペレーター）にとり大きな問題であり、燃料油費用の増加分が適正に転嫁できるよう、荷主団体への働きかけ等環境整備をお願いいたします。
- 5) 規制適合油使用に伴う追加設備・措置の必要性等の詳細な情報の早期開示及び支援をお願いいたします。
- 6) 大型船等について、スクラバー設置で対応することとした場合の支援をお願いいたします。
- 7) 規制強化に伴う諸問題について意見・情報交換を行うため、燃料油の供給サイドも含めた関係者による連絡会等の設置をお願いいたします。
- 8) 今後の議論の中で新たな課題が生じた場合には、迅速な対応、適切なお指導をお願いいたします。

以上